

作成日 2022/12/06

改訂日 2024/12/10

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名 Sebacic Acid

会社名 アーク株式会社

住所 大阪府中央区安土町 3-5-13

本町ガーデンシティテラス 3 階

電話番号 06-6563-7710

FAX 番号 06-6563-7720

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

物理化学的危険性 該当区分なし

健康に対する有害性

皮膚腐食性／刺激性 区分 2

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 2A

環境に対する有害性 該当区分なし

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語 警告

危険有害性情報 皮膚刺激

強い眼刺激

注意書き

[安全対策] 取扱い後は手や顔をよく洗うこと。

保護手袋、保護眼鏡を着用すること。

[応急措置] 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

GHS 分類に該当しない

他の危険有害性

粉末または顆粒状で空気と混合すると、粉塵爆発の可能性がある。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質／混合物の区別： 化学物質

化学名又は一般名： セバシン酸

濃度又は濃度範囲： >99.5%(GC)

CAS NO： 111-20-6

別名 1,8-Octanedicarboxylic Acid , Decanedioic Acid

化学式：  $C_{10}H_{18}O_4$  官報公示整理番号

化審法： (2)-878 安衛法： 公表化学物質

### 4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合： 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合： 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。口をすぐこと。

応急措置をする者の保護： 救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤： 粉末, 泡, 水噴霧, 二酸化炭素

特有の消火方法： 消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火を行う者の保護： 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、

保護具及び緊急時措置：

個人用保護具を着用する。

漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項： 製品が排水路に排出されないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収する。

付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 取扱いは換気のよい場所で行う。

適切な保護具を着用する。

粉塵が飛散しないように注意する。

取扱い後は手や顔などをよく洗う。

注意事項： 粉塵やエアゾールが発生する場合には、局所排気を用いる。

安全取扱い注意事項： 皮膚、眼および衣類との接触を避ける。

保管

適切な保管条件： 容器を密栓して冷暗所に保管する。

酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

安全な容器包装材料： 法令の定めるところに従う。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

管理濃度： 設定されていない。

保護具

呼吸用保護具： 防塵マスク、簡易防塵マスク等。

手の保護具： 保護手袋。

眼、顔面の保護具： 保護眼鏡。状況に応じ保護面。

皮膚及び身体の保護具： 保護衣。状況に応じ、保護長靴。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観:	Powder&Granular
色相:	White
臭い:	Mild fatty acid odour
pH:	No data available.
融点:	134.5 ° C at 1013 hPa
沸点:	338 ° C at 1013 hPa 295 ° C at 133 hPa
密度:	1.207 g/cm <sup>3</sup> at 0 ° C

蒸気圧:	Negligible, 0.00001 hPa at 20 ° C
分配係数(n -octanol/water):	Log pow = 1.5 at 23 ° C at pH 3
溶解性:	209.7-238.3 mg/l in water at 20 ° C
引火点:	Not applicable.
発火点:	Not applicable.
可燃性:	Non flammable.
分解温度:	No data available.
爆発性:	Non explosive.
酸化性:	No oxidising properties.
蒸発性 :	No data available.
粘着性:	Not applicable.

#### 10. 安定性及び反応性

反応性： 情報なし

化学的安定性： 適切な条件下においては安定。

危険有害反応可能性： 粉末または顆粒上で空気と混合すると、粉塵爆発の可能性がある。

避けるべき条件： 静電放電

混触危険物質： 酸化剤, 塩基, 還元剤

危険有害な分解生成物： 二酸化炭素, 一酸化炭素

#### 11. 有害性情報

急性毒性： ihl-rat LC50:>450 mg/m<sup>3</sup> orl-at LD50:14375 mg/kg

ipr-mus LD50:0 mg/kg 皮膚腐食性/刺激性： 情報なし

眼に対する重篤な損傷性

/刺激性：

情報なし

生殖細胞変異原性： 情報なし

発がん性：

IARC = 情報なし

NTP = 情報なし

生殖毒性： 情報なし

特定標的臓器毒性

-短回暴露：

情報なし

特定標的臓器毒性

-反復暴露：

情報なし

誤えん有害性： 情報なし

RTECS 番号： VS08750

## 12. 環境影響情報

生態毒性：

魚類： 情報なし

甲殻類： 情報なし

藻類： 情報なし

残留性・分解性： 89% (by BOD) , 10% (by HPLC) , 10% (by TOC)

\* 既存化学物質安全性点検による判定結果： 良分解性

生体蓄積性(BCF)： 情報なし

土壤中の移動性

オクタール/水分配係数： 2.

土壌吸着係数(Koc)： 情報なし

ヘリ定数(PaM 3/mol)：  $3.0 \times 10^{-6}$  オゾン層への有害性： 情報なし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

汚染容器及び包装

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

## 14. 輸送上の注意

国連番号： 該当なし。

国連分類： 国連の分類基準に該当せず。

輸送の特定の安全対策及び条件：

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に、法令の定めるところに従う。

## 15. 適用法令

国際インベントリー

EINECS/ELINCS 収載

TSCA 収載

国内法規

消防法 非該当

毒物及び劇物取締法 非該当  
労働安全衛生法 非該当  
危険物船舶運送及び貯蔵規則 非該当  
航空法 非該当  
化学物質排出把握管理促進法  
(PRTR 法)  
非該当  
輸出貿易管理令 非該当

#### 16. その他の情報

引用文献および参照ホームページ等 NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構  
<http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>  
IATA 危険物規則書  
RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances  
中央労働災害防止協会 GHS モデル SDS 情報  
有機合成化学辞典 (社) 有機合成化学協会講談社サイエンティフィック化学大辞典共立出版等

#### 免責事項

この SDS は JIS Z 7253:2019 に準拠しております。記載内容は通常取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。GHS 分類は JIS Z7252(2019)に準拠している。\*JIS: 日本産業規格